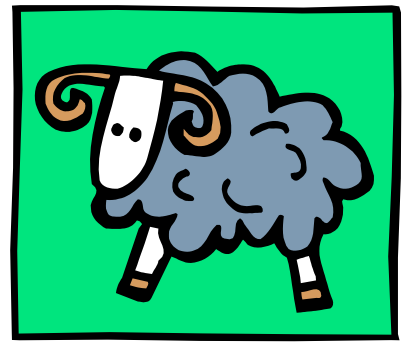


NEWS LETTER



NO.16 2003.9.30

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山北町 3 - 2 - 10

☎078 - 453 - 5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

相手の立場になって考えてみる・・・言うのは簡単ですが実行するのは本当に難しいものです。日本語でのコミュニケーションが充分できない人が相手の場合はなおさらです。少しでもそんな人たちのお手伝いをしたいと始めた「にほんごひろば岡本」ですが、コーディネーターとしてこれでいいのだろうかと自問する日々が続いています。

学習者がひろばに求めるものは、人によりさまざまですが、彼らの要求が余りにも過大であったり、性急であったりすると、ついきつい口調で接してしまいます。

不安そうな面持ちでひろばを尋ねてくる外国人・・・伝えたいことがあり過ぎて、あふれる思いを言葉にできないもどかしさ・・・

彼らと自分の立場を逆さにしてみたら、その苦悩をわかってあげられるはずなのにと反省することも少なくありません。先入観や第一印象で判断してならないのは勿論ですが、インタビューをしても本当に求めているものが十分に理解できない（私の力量不足からでしょうが）ことがしばしばあります。

プライベートレッスン形式をとっているので、マッチングの善し悪しが直ちに学習に影響してきます。学習者と支援者がいい関係を築き上げ、生き生きと交流している姿を見ると勇気づけられます。反対に、限られた条件の中で安易に組み合わせをしてしまっただけで、学習者、支援者の意欲を削ぐようなことになっている場合があるかも知れません。責任の重さに不安になることがあります。



Contents

- 【特集1】 研修が生まれかわってスタート！2
- 【連載】 学習者・支援者の紹介3
- 学習者の自己紹介6
- 【お知らせ】 秋の BBQ・ステップアップ講座 5
- 【特集2】 さようなら デニーさん、ホセさん7
- 【トピック】 ステップアップ講座に参加して8
- 天羽修江さんからのたより8

「気負わず、気長に、楽しく！」をモットーに活動を始めてもうすぐ満 4 年。謙虚な姿勢を失わず、相手の立場になって考えることを忘れないで、皆さんと力を合わせて、息の長い活動を続けたいと思っています。（西村佳子）

【特集 1】秋です！ 研修もリニューアルしました。いよいよスタートです。

今までのワークショップ（教え方や文法など）は「ステップアップ講座」に移行させて、あるテーマについて共に考え理解を深めていく講座は「**ワークショップ&支援者交流会**」に変身しました。記念すべき第1回の報告をしましょう。また、外部から講師を招いて行われた「**ステップアップ講座**」の様子もちょっと紹介します。

これからの学習支援に役に立つこと請け合いです。次回以降の参加を是非お待ちしております。

その1

ワークショップの報告

8月23日（土）午後1時30分から4時まで、残暑厳しい中、16名もの支援者が下田美津子先生の指導のワークショップに参加しました。



過去9回のワークショップの終了後のアンケートで、必ず誰かが方言（地域語）について、相談や意見を述べていることから、今回のテーマは満を持して、「地域語を考える」でした。

次回のワークショップと合わせて、にほんごひろば岡本作成の“好い加減なそして役に立つ”地域語のリーフレットを作ること为目标にしました。関西以外の出身者を含む5人くらいの男女混合のグループに分かれて、話し合い作業をしていきました。

支援活動上で「地域語」を抑圧して支援することの功罪や「地域語」を覚えたい学習者の事情等、活発な意見の交換がなされました。色々な事例が紹介され、適材適所についてもおさえて「地域語」の支援をしなければならないとか、会話をする相手の環境においても話す言葉が微妙に変わってくるなど、活発な意見の交換がありました。

みんな普段は気につけないで話している「地域語」ですが、学習者にこれだけは伝えたい「地域語」、うまくコミュニケーションするための「地域語」などを載せようと、時間がたつのも忘れて、話し合っていました。とても楽しい有意義な時間でした。地域語を媒体として、支援者交流もできました。

日常生活に即した「日本語支援」の大切さを実感しました。（M・I）

その2

ステップアップ講座 始まる！

9月20日（土）午後1時30分から3時30分まで、『みんなの日本語』の23課の教え方について、京都民際日本語学校講師の岡田裕子先生の講義が行われました。この講座は外部の講師を招き、また、ひろば以外で学習支援をしている人々の参加もOKで、当日は13人の参加がありました。10月18日まで毎週行われ、計5回の集中講義です。1回だけの受講も可能です。



第1回目の20日は、教科書の特徴、練習の流れ、23課の習得目標を講義して頂いた後、2人ずつのペアになり、この課の文型「～とき、～」、「～と、～」の導入例文を考えました。場面を設定し、会話をしながら文型を導き出す作業に、ベテラン支援者も初めての人も一緒にチャレンジ。既習語彙・文型の制限がある中で、学習者にわかりやすい例文を作ることの難しさを実感しながらも楽しい作業でした。

学習者紹介

●クリスティアーネさん 女性（ドイツ出身） 音楽の先生は武道が大好き

六甲にあるドイツ人学校の先生クリスティアーネが今度の私の相手です。彼女の専門は声楽で、ドイツではクラシックとジャズを勉強したそうです。今、学校では音楽以外に数学、ドイツ語、美術を教えていて、毎日大変忙しそうです。小さい子供を受け持っているの、勉強よりも毎日の学校生活、集団での基本的な生活習慣などを教えることのほうがとても大変だということです。国が違って子供たちはやはりどこも同じようです。家に帰ってからも、次の日の授業の準備やレポートを書いたり仕事がたくさんあり、日本語を勉強する時間がとれないと嘆いています。

彼女は部屋で静かに音楽に浸っているだけでなく、大変なスポーツ好きのアクティブな女性です。空手、太極拳、居合道など武道が好きで、空いている時間はその練習にあてています。最近は剣舞も始めたそうです。居合道や剣舞など最近の日本人にはあまり馴染みのない種目について私の方が説明してもらっているありさまで。練習熱心のあまり家の中で刀を振り回し、壁にだいが傷をつけてしまったそうです。部屋を出る時大家さんに怒られないでしょうか。



日本に来る前、マレーシアのドイツ人学校に3年間いましたが、そこでダイビングを始め、今ではダイビングに夢中です。学校の春休みにはハワイに3週間、夏休みには1カ月マレーシアに行き、ダイビングに没頭していました。今はもう次の春休みにどこへダイビングをしに行こうかと考えているようで

す。日本食も大好きで、日本に住んで毎日毎日をとて楽しんで生活しているように見えます。

彼女はぜったいにいやだと言っていますが、私は、ぜひ一度彼女の歌うジャズを生で聴きたいと思っています。（松見和代）

●金 泳杜（キム・ヨンドウ）さん 男性（韓国出身）

詩を訳したり、いろんな人と会話したり

韓国出身の金泳杜さんは、神戸商船大学の留学生



です。にほんごひろば岡本では、今年の3月から半年間一緒に勉強してきました。

私は、ひろばで支援者として日本語を教えるのが初めてで、緊張と不安でいっぱいでしたが、金さんはすぐに私のことを先生と言って慕ってくれ、金さんの笑顔とやさしさにいつも助けられました。金さんは話すことが大好きです。新しく聞いた言葉をすぐにメモして覚え、すぐに会話の中で使います。会う度会う度に会話力が上達していて、毎回難しい単語が金さんの口から出てくるのに驚かされます。金さんも私も話すことが好きなので、勉強していても気がついたら脱線して会話に熱中していることが多々あります。辞書を使いながらどんな一週間だったとかの簡単な話から韓国の歴史などの難しい話まで、いろいろなことを話してくれます。この前は、金さんの好きな韓国の詩を日本語に訳して私に見せてくれました。詩は、本当に金さんが訳したの？！と思うくらい難しい内容でまたまた驚かされました。詩を訳したり、いろんな人と会話したりと、その積極的な行動から日本語力が身についているのだと思います。（野原絵梨花）

支援者紹介

林 真衣子さん

一つ一つ壁を乗り越え頑張っていきたい

松蔭女子学院大学四回生の林真衣子です。ひろばに来て一年半が経ちました。多くの人と出会い、多くの経験を得ることができました。カナダ人のシェインさん、アメリカ人のグレッグさん、韓国人の元さんと出会い勉強してきました。そして現在はベトナム人のダンさんと一緒に勉強しています。

7月中旬から8月上旬にかけての3週間、兵庫県国際交流協会日本語教育実践講座という教育実習に参加しました。毎朝5時半に起き協会へ通い、教案を何度も書き直し、実習の後の事後指導では先生方から厳しく御指摘を受け、毎日見学のレポートを書き、本当に勉強の毎日で、一日一日吸収しなければならぬことで溢れていました。生まれて初めてストレスで胃を痛め、本当につらく苦しい3週間でした。しかし現在の学習者であるダンさんや、ひろばで話したことがある人たちが何人も私の実習するクラスに在籍していて、彼らにはたくさん励まされました。非常に厳しい実習ではありましたが、教壇に立つ楽しさを知り、またこれからの課題と目標を見つけることができ、本当に参加できて良かったと思っています。



卒業後は松蔭からティーチングアシスタントとして北京の大学へ派遣され、日本語を教える予定です。まだまだ未熟で不安だらけですが、一つ一つ壁を乗り越え頑張っていきたいと思います。

松岡 正治さん

造船技術で国際交流

はじめまして、約1年前から「にほんごひろば岡本」でお世話になっています唯一の大正人間です。

現在、王禹さんと月2回楽しく勉強しています。昨年四本さんの紹介で入会、「日本語学



習支援者養成講座」を受講して仲間に入れていただき、王禹さんを紹介されて学習が始まりました。

王さんと相談の結果、日本語は相当熟練されているので、なにかテーマを決めてその関連で日本語を学習していこうということになりました。そのテーマとして王さんの専門の「生産の自動化」(私も専門とする)か、私が阪神シニアカレッジでまとめた「カタカナ文化」を検討して、「カタカナ語」をまとめた文を取り上げましたが、暫くしてやはり現実の身近な問題の方がわかり易いということになりました。そこで教科書「日本語の表現技術中級」をベースとして「日本の経済環境」「少子高齢化社会」「日本の宗教」等々の文章を読んで、その意味するところから始まり、それらの明治・大正・昭和の終戦前と終戦後、それぞれの時代の考え方の推移、日本とヨーロッパ・アメリカ・中近東・東南アジアからの見方、考え方の違いについて相互に意見を述べて、その日本語の表現の仕方、ニュアンスの表し方などを楽しみながら学習しています。

これらの学習に際し、簡単に自己紹介をさせていただきますと、私の時代は、7歳から尋常小学校にて、「カタカナ」から学びました。(終戦前は憲法、国際文書など正式文章は「カタカナ」でした)その後「ひらがな」に入り、中学(5年制)でも「ひらがな」は古文で習いました。国文法は中学1~3年で習いました。

仕事は技術屋で、造船技術が本職で15年、その

後土木、建築(主としてプラント建設)技術30年、その間後半これらに関連して生産管理(経営工学)を専門として、70歳まで仕事をし、その後「阪神シニアカレッジ国際交流学科」にて4年間学びました。

この間造船ではアメリカ・イギリス・ドイツが主体で、プラント建設ではアジア(インドネシア・フィリピン・台湾・中国・マレーシア)中近東(イラン・イラク・サウジアラビア・トルコ)北アフリカ(エジプト・リビア・チュニジア・アルジェリア・モロッコ)ヨーロッパ各国など関係してきました。その間公的な立場とは別に、現地の人々とその生活習慣・言語には非常に興味をもち、言葉もすべて我流で実地に覚える努力をし彼らと交流してきたつもりです。そして彼らの考え方、ものの見方、習慣などを興味をもって観察し、世界中どこでも庶民には多くの共通点があることを見つけてきました。

年老いて口以外は衰えてなにでもできませんが、今後はこのような経験が少しでもお役に立てばよいという考えで過ごしていきたいと思っています。

馬場 あさみさん

楽しい!異文化交流

私は松蔭女子学院大学の日本語教育コース4回生で、約一年半前から「ひろば」でお世話になっています。現在、韓国出身の金紀成さんと一緒に学習しています。

下田先生の紹介で、友人と恐る恐る「ひろば」へ見学に来たのがきっかけでしたが、今は「ひろば」に出会えて本当によかったと感じています。

まず、イベントが楽しい!こんなに国際交流ができる場って他にあるの!?と思うくらい、支援者と学習者が楽しんでいることに驚かされました。そして何よりも大学の授業で学んだことを活かし、学習者と一緒に私も多くのことを学べるからです。

実際に金さんと勉強している中で、うまく説明ができない時や、生まれ育った日本なのに文化や習慣の知識がまだまだ足りないと感じた時、「もっと勉強しなければ!」と思わされます。また、韓国の習慣や流行等を聞くのも楽しいですし、勉強の後に、

二人とも大好きなビールを飲みに行くのもまたうまい!!これもまた異文化交流ですよ!? (笑)

あと半年で大学も卒業ですが、これからもずっと日本語教育に関することにかかわっていきたいと思います。

将来は外国に行き、反対に私が学習者になってみたいと考えています。その時、学習者の本当の大変さを身をもって理解することになるのでは・・・?



<お知らせ>

その1:BBQパーティー

恒例の楽しいBBQパーティーです。

日時:10月12日(日) 10:30~15:00

場所:芦屋奥池 遊びの広場

参加費:1000円 (バス代別)

詳細はひろば掲示板でお知らせします。

子供は無料です!

たくさんの人の参加、お待ちしております。

その2:ステップアップ講座(第3回~第5回)

10/4、10/11、10/18

いずれも土曜日、PM1:30~3:30

『みんなの日本語』25~27課

費用:500円/回

1回ごとの申し込みOKです。問い合わせは、にほんごひろば岡本まで。

学習者の自己紹介

新学期が待ち遠しいです

李 承姫（韓国出身）

みなさん！こんにちは。私は李 承姫（イ・スンヒ）です。韓国から来ました。今、神戸商船大学の短期留学生として勉強しています。去年韓国の大学の先生の推薦でこの留学を決心することになりました。そしてこの留学は私の最初の海外旅行であり、自分



ひとりの生活でもあります。生まれた時からずっと家族と一緒にすごしていたからです。

最初の日本の生活はむずかしかったです。いろんな面で失敗もたくさんありましたが、研究室の先生たちと学生たち、韓国の留学生たちのおかげで楽しく日本の生活を送ることができています。今も研究室の先生たちは、私により激励をあたえてくれます。ほんとうにありがたいことだと思います。

私が日本にきてからもう7カ月ぐらいになりました。最初の日本の生活よりすこし慣れていていると思います。日本の留学生活の中で一番おもしろいことは、いろんな人々に会うことです。私がここで外国人として時々日本人に会う機会がありますが、学校で多くの国籍の学生たちと自分の国について話すことも楽しいです。その学生たちと話せば時間があっという間にすぎます。今は夏休みですから学校がしずかです。研究室の学生たちと留学生たちに会いたいですから、新しい学期を首を長くして待っています。

あと4カ月で韓国に帰りますが、有意義にすごして頑張りたいと思います。そして韓国に帰ったら、日本に行く留学生のために日本の文化や日本での生活を話したいと思います。

日本語を学ぶキッカケ

金 紀成(韓国出身)

今年の2月に韓国から来日して、神戸商船大学の短期留学生として勉強している金紀成(キムキソン)と申します。24歳の暖かい心を持っている男で独身です。よろしく！日本に来てからもう7カ月くらい過ぎましたね。振り返れば色々ありましたが本当に面白い時間でした。楽しい思い出ばかり貰って、本当に日本に来て良かったなと思います。特に「にほんごひろば岡本」と出会った思い出は一生忘れられないと思います。

皆さんはどんなキッカケで日本語を学ぶようになりましたか？日本で生活するために日本語を学ぶのは当然なことですね。これだけでもキッカケとしては充分だと思います。でも私のキッカケは岡本の二人の方から(西村さんと馬場先生)でした。この二人の方から受けた衝撃でもっと頑張ろうの気持ちになりました。西村さんは皆に変なこと(?)を言って相手を困らせたりしますね。私もあんな質問を受けた時、ちゃんと答えられなかったです。これが悔しくてたまらなかったです。いつか西村さんを攻撃する日を想像しながら日本語を学んでいます。果たしてそんな日がくるかな。馬場先生と初めて出会った時、こんな



きれいな方がいるなんて思えなかったです。美人の先生が親切に素晴らしい教え方で教えてくれるので、みんな絶対勉強するでしょう。皆さん、もちろん西村さんも親切だしきれいですよね。二人のお陰で少しでも日本語で話せるようになっていつも感謝しています。来年1月に帰国する予定なので、あと4カ月くらい残っています。考えて見れば少ない時間ですが、岡本に通いながら良い思い出をいっぱい作って帰るつもりです。もちろん、日本語も上達して帰りたいです。皆さん、よろしくお願い致します。

【特集 2】

さよなら デニーさん、ホセさん

さようならデニー！

勉強が終わると決まって”Thank you, Thank you, Thank you for lesson. See you next week.”と言って帰って行きました。この年になって人から感謝される事などめったにない私は、彼からどれだけ勇気をもらったかわかりません。



最近、私はゴールデンレトリバーの子犬を飼い始めました。名前はジンジャーといいます。ジンジャーはデニーが以前飼っていた犬の名前です。その犬のことをよく話してくれて、とても可愛い名前だと思い、いつか犬を飼ったらその名前をつけようと思っていました。それが実現し、可愛い名前のお陰でジンジャーは街の人気ものです。

海の大好きなデニーは夏になると、よく須磨へ行きサンディエゴの海を懐かしんでいました。しかし、須磨の海は人が多く、汚くて、一日海で楽しんだ後、日本人はゴミを置いていく事にショックを受けたそうです。アメリカ人は必ず家に持って帰るそうです。また英語学校で子供達に部屋について教えていた時、パパとママのベッドルームが違っていると聞いて、とても驚いたそうです。彼なりに日本の状況を分析していましたが、まあ、そういうこともあって、日本は大好きだけれど、文化の違いを大きく感じたそうです。

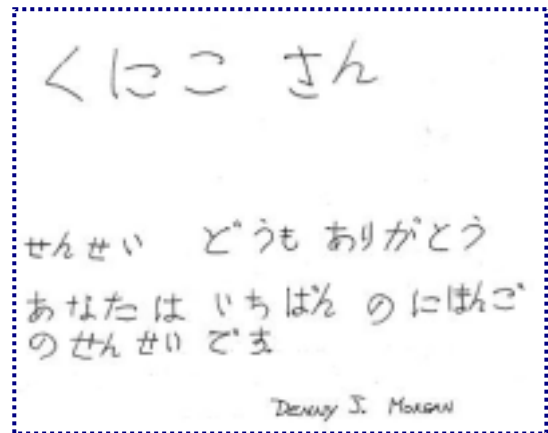
アメリカでは外国人もアメリカ人になれるが、日本では日本人の世界があって外国人は外から見ただけで（楽なときもあるが）絶対中に入れない雰囲気があるそうです。外国人をまだ受け入れない面がかなり残っているようです。

ボランティアを始めて 10 年余り。いつも思うのですが、戦争が始まったらどんなに悲しいだろう、どうぞいつまでも平和な世界が続きますように心からお祈りします。

バイバイ デニー！ See You Again!! (市川邦子)

ありがとう邦子さん！

帰国するデニーさんが、市川さん宛てに心のこもったメッセージを届けて下さいました。



大きな目的をもつ学習者 ホセさんと出会って

ヴァレンセラ・ホセさんは、ペルーから自動車の整備工として 2002 年、11 月に来日しました。彼の日本語は、独学で身につけた、ひらがなと挨拶で使う言葉ぐらい。そんな彼の来日目的は、日本車を海外で販売する会社を経営することでした。そして彼は、日本車を買ひ、ペルーやスリナムで売するのに必要な日本語と、それにまつわる問題についても教えて欲しいといいながら、「このお金を使うつもりで



す」と通帳を私にみせました。彼の貯金は〇〇万円程。私は目を疑いましたが、彼の本気さに私のやる気もでてきました。

彼の教科書は、友人からもらった『みんなの日本語』1冊でした。この教科書を今までにないような使い方をしてみたり、仕事をしている写真を撮ってきてもらい、それを見て私が会話を考えたりもしました。

彼はとにかく必死でした。私と学習している間に、片言の日本語で銀行口座を開き、法律相談所へ行き、毎週のように南港のオークションに参加し、中古車を何台も購入しては、ペルーに輸送していました。今頃はペルーで、たくさん売って、お金も儲けていることでしょう（笑）

彼に、にほんごひろばでの目的を聞かされた時に、

いろいろとしなければならぬと、少し気負いすぎましたが、にほんごひろばで出来ることを一生懸命伝えれば、学習者はそれなりに吸収し、役に立ててくれるんだと思いました。

いろんな目的を持ってにほんごひろばに来る学習者がいますが、中には、ホセさんのように大きな野望？をいだいて、それに対応した日本語を勉強したいという人もいます。でも、私たちはすべてを叶えてあげようなんて思うことはないと思います。無理なこともたくさんあります。ただ、少しでも出来ることがあるはずだと思う気持ちをもつことがこれからも大切なことでしょう。（山下圭子）

ステップアップ講座に参加して

台風15号が近づいて雨が降り始めた土曜日の午後、若々しい岡田先生の「いっしょに考えていきましょう」という優しい言葉で講習が始まりました。

受講生は、見るからに若い教師の卵の方たちや、思わず一礼してしまうような人生の大ベテラン、気安く会話をしめそうな”おば様”まで実にいろいろでした。

実際に授業することを想定したロールプレイでは、思うような例文が出て来ず、本当に生徒がいたら、冷や汗をかいてしまいそうな場面が続出でした。

時間をオーバーしてまでも熱心に指導して下さいました先生のおかげで、私のメモ帳はいろんな場面会話のヒントで埋まりました。（水上みづ代）

天羽修江さんからのたより

先日はお葉書をありがとうございました。9月に入り全国的に残暑！！でしたね。「岡本」も又学習者が増えたそうですね。韓さんの勉強の方は進んでいるかしら？9月から日野市でボランティアを始めました。まだ2回しかしていませんが、「みんなの日本語」36課からと、漢字を学びたいというタイとフィリピンの30歳くらいの女性4人です。4人一度に教えたことがないので不安ですが、教える方の人数が足りず（というか学習者がどんどん増えているらしい）1対1の人はいないようです。会の備えつけ教材がとても少ないので困っています。良い点も悪い点もありますが、日本語に携わってきたいので、長く続けていきたいと思っています。これから又、秋、冬の行事がありますね。又バーベキューをするのですか？皆様によろしくお伝え下さい。

設立以来多くの学習者を支援し、運営委員としても大活躍して下さいました天羽修江さんが東京の福生市に引っ越されました。先日届いたお便りを紹介します。

お願い 目からウロコ話 vol.2 の原稿を募集します。異常気象のせいなのか、編集者の怠慢なのか、今回はお休みです。是非是非、ウロコ話を提供してください。よろしくお願いします。

編集後記 ご縁があって16号の編集をお手伝いさせて頂きました。本業？の学習支援は始めたばかりの新人です。今後ともよろしくお願いいたします。（E.M）